



株式会社 山ノ下納豆製造所

SDGs宣言

当社は、SDGsの達成に向けて、後述の取組を含む社内外に好循環を生み出す取組を推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組およびその改善を、ここに宣言します。

2023年 3月 27日

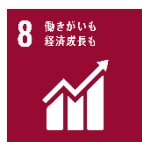
株式会社山ノ下納豆製造所 代表取締役 佐藤 彰城

人権・労働

<具体的な取組内容>

- 現行の「年5日の時季指定有給休暇100%取得」を上回る平均10日の有給取得を維持しつつ、更に取得日数を増加できる体制を目指す
- 残業がほぼない勤務状況を更に推進することで、安全に関する研修受講や資格取得ならびに、ワークライフバランスの維持・向上に努める

<関連のあるゴール>



環境

<具体的な取組内容>

- 大豆の煮汁などをろ過して廃棄するだけでなく、今後肥料などにも活用し、サーキュラーエコノミーを推進していく
- 全ての事業所で既に導入済みのLED、ならびにCO2排出量が少ない製造機械の導入など、今後自社のCO2使用料を把握しつつ削減に向けてさらに取り組んでいく

<関連のあるゴール>



製品・サービス

<具体的な取組内容>

- 取得済みの食品衛生規格「JFS-B」に基づき、食品安全マネジメントを確実に継続し、安全・安心を365日お客様に提供する
- 国内外を問わず原料仕入れ先について、製品の品質だけでなく、CSRやサステナビリティに関する項目などの観点からも選定することで、サプライチェーン全体で社会・環境に貢献していく

<関連のあるゴール>



内部管理・組織体制

<具体的な取組内容>

- お客様、お取引先からの多種多様な申出について、社長自らが対応することで、製品ならびに社内体制の改善に日々つなげていく
- 食品安全マネジメントだけでなく、事業継続マネジメントも今後体制構築を行い、災害や事故に強い組織作りを行う

<関連のあるゴール>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。